

「3・11いわて教会ネットワーク」ニュース

Vol.21 2013/10/13

大船渡での働きを振り返って ジェント・マイカ

大工として

大船渡での働きの中、私が関わっていたのは大工と子どもたちでした。大船渡市での働きに関わり始めてから、仮設の支援員さんからお茶会に来る人たちより、それぞれの家から出てこない人たちのほうが必要があると言われました。また、ある仮設で談話室に下駄箱があつたら助かると言われ、ひとつ造ってみるようになりました。また、震災後から大船渡市で大工をしていた叔父からも大工の引継ぎを紹介され、大工を本格的にはじめるようになりました。

あまり続かないと思いながらも大工を続けていく中、大工を通して仮設の方々と出会うようになりました。一人ひとりとお話をするとき、彼らの中に「教会とは?」「どこの教会に行くの?」などと教会について聞いてくる方々がいました。一緒に休憩中に彼らと交わる中で証の機会が与えられました。そこで救いの証、またその時どのように教会と関わっているかについてお話をする時があり、また彼らを通して被災したときの事からその時抱えている問題を知るようになり、関わりを持つようになりました。大工を通して生活を改善する助けだけでなく、出会い、交わりそして時には証をする機会も与えられました。

子どもたちとの出会い～土曜日曜学校がスタート

大工を始める頃から ある仮設で子供たちと英会話をするようになりました。当初は英会話でしたけど、途中からただ「遊ぶ時間」になりました。このままで良いのかと思う時もありました。遊ぶ中で彼らがそれぞれいろいろな傷を負っていることを知り、また見るようになりました。どうすることもできずにいた自分がなんて無力なのかを改めて教えられました。その中で彼らと出会うことができ、一緒に遊ぶことができたのは本当に感謝です。

しかし神さまの恵みはそれで終わりませんでした。一年後に仮設の支援員の方から、「子どもたちのために教会で日曜学校をしてください」と言われました。今では大船渡聖書バプテスト教会で月二回 Saturday Sunday School(土曜日曜学校)することになりました。ただ子どもたちと毎週遊んでいただけですが、神さまの働きにより彼らが教会にくるようになりました。それを見ることを許して下さった神様に感謝です。(裏面へ続く)



後列中央がマイカ兄



岩手での豊かな時間

被災地支援に関わるようになり多くの方々とお会いしました。被災地の方々だけではなく、ボランティアに来てくださる方々と、また 3.11 いわて教会ネットワークの先生方、スタッフの方々、岩手県の教会の方々とも出会えたことは大きな恵みでした。長いようで短かった岩手県での時間でしたけど、多くの方々と出会えて、共に礼拝し交わり、時には証することができました。また支援活動を共にできたことを通して多くのことを教えられ経験することができました。近藤先生をはじめ、コアメンバーの先生方、教会の方々から学ぶことができたことは私にとって大きな宝となりました。ここで学べたことは本当に感謝であり、これからの歩みに必要なことだったと思います。ここで学べたこと、出会えたこと、神さまに感謝です。また多くの祈りをもって支えてくださった先生たちをはじめ、スタッフの方々、各教会の方々、ありがとうございました。

◇マイカ兄は9月をもちまして岩手での働きを終え、10月から青森県のつがる福音キリスト教会の牧師となりました。また、山田を中心にご奉仕下さったマイク&ロウィーナ・マギンティ宣教師、モーケン・ラウさんがそれぞれ任期を終えて岩手を離れました。今までの岩手での忠実なお働きに心から感謝します。

◇一方、今年4月以降、以下の方々新しいスタッフとして加えられています。

芝本るみ子さん（宮古）、コービ&テリサ・ワインホーフ宣教師（釜石）、片山未来さん（釜石）、小原啓美さん（山田）、ゲルト&ハイケ・シュトラウス宣教師（一関）

各スタッフの各地での働きのために、続けてお祈り下さい。

「ニコライの足跡を辿る祈りの旅」開催

若井 和生

ハリストス正教会の宣教師で東北宣教の先駆者でもあった「ニコライの足跡を辿る祈りの旅」という企画が、7月にもたれました。呼びかけ人の一人となられたのは、「いっぽいっぽ釜石」の高橋和義先生です。関東や東海地方から10名の方々が集まり23日から24日にかけて、山田から釜石までの約35キロの道を歩きました。

参加者は皆ニコライの「日記」を手にしながら、ニコライの歩いた同じ道をたどり、ニコライの見た同じ風景を眺め、そして100年以上も前にその地を歩いて伝道したニコライの情熱に触れました。それによって、この地が以前より神様にとって大切な地であり、宣教の働きがなされてきた地であることを、私たちに示して下さいました。また、津波で流された山田ハリストス正教会の跡地、大槌町役場前、津波で被災した釜石新生教会などで祈りを捧げて下さいました。

私自身はこの企画に参加することはできませんでしたが、釜石に到着された皆様にお会いし、ひと時、時間をともにすることができました。「何もしない被災地支援でご免なさい」と参加者の一人から言われました。とんでもありません。この地に駆けつけ、この地の風景や歴史を全身で確かめ祈って下さったことに心から感謝します。そして、「歩いて祈る」という支援の方法があることを初めて教えられました。



「イエス様に平安がある！」

マートン選手 希望のお米プロジェクト報告 佐々木 真輝

阪神タイガースのマット・マートン選手がチームの勝利毎にお米50kgを被災地にお届けする”希望のお米プロジェクト”が行われています(一関ベースが窓口となっています)。

お米は主に県内で調達し、2kgに小分けした上でマートン選手からのメッセージやトラクトと一緒に各家庭に一軒一軒お届けします。小分けの作業はボランティアチーム、地元の有志によって行われる他、北上聖書バプテスト教会での月一度の作業日には、教会内外からボランティアを募って作業しています。

配られるお米は僅かなものですが、有名なプロ野球選手ということもあって喜んで受け取って頂いていますし、何より訪問先で与えられる出会いや再会、交流が嬉しいです。これまで、一関、陸前高田、気仙沼、大船渡で配布されましたが、最終的には約3.5t、1,750世帯の仮設住宅、みなし仮設等にお届けする予定です。ぜひこの働きが真の希望、平安に至るきっかけとして用いられるようお祈りください。



7～9月に支援に駆けつけて下さった教会・団体

IBF、シンガポールチーム、東京キリスト教学園、関西聖書学院、聖書宣教会、台湾チーム、チャペル小羊、東京聖書学院、厚別教会、イギリスチーム、JEMS、TEAM、津軽石中学校、キリスト者学生会、名古屋キャンパスクルセード、韓国チーム、三沢チーム、JCMN、玉川聖学院、蓮田キリスト教会、関西福音自由教会、キリスト伝道隊、ティラナスホール、安曇野ファミリーチャペル、浜田山キリスト教会、同盟基督教団、CCMN、札幌西福音教会、ライフレイ・チーム、こひつじキリスト教会、希望の丘教会、岡山聖約チーム、前橋教会、港北ニュータウン教会、北海道チーム、田園グレース教会、フリーウィル・バプテストチーム、合同教会、盛岡聖書バプテスト教会、盛岡みなみ教会、北上聖書バプテスト教会、水沢聖書バプテスト教会、宮古コミュニティ・チャーチ、陸前高田キリスト教会

◇この夏も多くの教会や団体の方々が岩手まで駆けつけ、各地で奉仕して下さいました。また、個人で駆けつけご支援下さった方々も多くおられます。ありがとうございました。また背後にある祈りとささげものにも心から感謝致します。

◇震災から2年半が経ちましたが、復興はなかなか思うように進んでいません。そんな中、生活の様々なストレスや疲れ、将来の不安や焦りなどに多くの方々が苛まされています。教会が、今後とも人々や地域に丁寧に関わり、キリストの愛を証ししていくことができますよう続けてお祈り下さい。

◇被災地に駆けつけるボランティアの数は各地で減少してきているようです。その中で、教会による支援活動は継続されています。そのこと自体が、地域への大きな証しです。働き場は多くあります。今後とも是非、岩手までお出かけ下さい。

◇震災後3度目の冬をこれからむかえようとしています。スタッフの健康が今後とも支えられ、事故やトラブルからも守られますように続けてお祈り下さい。

2013年度中間報告(2013/03/11-2013/09/04)

	12年度決算	13年度予算	13年度実績	達成率
収入				
献金	9,909,149	13,000,000	5,606,082	43%
売上高合計	9,909,149	13,000,000	5,606,082	43%
活動原価				
支援物資	2,343,316	2,300,000	129,122	6%
支援活動費	1,559,683	1,300,000	451,375	35%
支援献金	450,000	200,000	0	0%
人件費	5,645,000	7,050,000	3,370,000	48%
売上原価合計	9,997,999	10,850,000	3,950,497	36%
売上総収益	-88,850	2,150,000	1,655,585	77%
営業費及び管理費				
住宅費	5,995,070	4,050,000	1,415,106	35%
会議費	28,492	1,200,000	161,676	13%
福利厚生費	847,900	200,000	30,000	15%
事務通信費	242,292	200,000	144,417	72%
広告宣伝費	752,873	300,000	129,395	43%
車両費	2,903,996	1,700,000	1,694,642	100%
備品費	615,605	400,000	39,242	10%
雑費	0	0	251,480	
営業管理費合計	11,386,228	8,050,000	3,865,958	48%
営業収益	-11,475,078	-5,900,000	-2,210,373	37%
活動外収益				
ベース支援献金		1,500,000	466,664	31%
戦略会議指定		1,200,000	0	0%
雑収入	2,009	0	1,383	
営業外収益合計	2,009	2,700,000	468,047	17%
経常収益	-11,473,069	-3,200,000	-1,742,326	54%
特別収益				
人件費基金取崩額	5,545,000	1,200,000	600,000	50%
指定献金取崩額	2,451,414	20,000	20,000	100%
盛岡ベース基金取崩額	0	700,000	307,799	44%
特別収益合計	7,996,414	1,920,000	927,799	48%
特別損失				
雑損失	0	0	0	
特別損失合計	0	0	0	
当期収益	-3,476,655	-1,280,000	-814,527	64%
前期繰越収益	9,376,226	5,899,571	5,899,571	100%
次期繰越収益	5,899,571	4,619,571	5,085,044	110%

◇皆さまのお祈りとご支援に心から感謝致します。3.11いわて教会ネットワークの働きは皆さまの尊い献金により、予算面においてもここまで支えられてまいりました。支出の多くを占めますものはスタッフの働きを支えるための**人件費**、各地に備えられたベースを管理するための**住宅費**、広範囲における働きを円滑に進めるための**車両費**です。地域に密着した丁寧な人々との関わりを今まで大切にしていまいりました。その結果、各地において地域との信頼関係が築かれつつあります。今後とも、この働きを祈りにより、また経済面によりお支援頂きますよう、どうぞ宜しくお願い致します。